

特定非営利活動法人農都会議 2016年度総会 議事録

1 日 時 2016年4月18日(土) 16:30~17:00

2 場 所 東京都港区立神明いきいきプラザ 集会室

3 正会員総数 10名

4 出席者数 9名 (うち表決委任者 0名)

5 審議事項

(1) 議長選出

(2) 第1号議案 市民キャビネット農都地域部会との組織統合について

(3) 第2号議案 役員変更について

(4) 第3号議案 2015年度事業報告・決算報告について

(5) 第4号議案 2016年度事業計画・予算計画について

6 議事の経過の概要及び議決の結果

(1) 総会成立の確認の後、議長として杉浦英世が選出された。

(2) 議長は、第1号議案について説明し、承認を求めたところ、満場異議なく承認可決した。

(3) 議長は、第2号議案について議場に諮ったところ、満場異議なく承認可決した。

(4) 議長は、第3号議案について議場に諮ったところ、満場異議なく承認可決した。

(5) 議長は、第4号議案について議場に諮ったところ、第1号議案にある残余金の繰り入れを明解にすべしとの意見が出され、「雑収益」科目へ別途計上することで、承認可決した。

7 議事録署名人の選任に関する事項

議事録署名人として竹林征雄、手塚信利が選出された。

以上、この議事録が正確であることを証します。

平成28年4月18日

議長 杉浦 英世 印

議事録署名人 竹林 征雄 印

議事録署名人 手塚 信利 印

2016年4月18日

NPO 法人農都会議 2016年度通常総会 議事次第

- 1 開会
- 2 議長選出
- 3 総会成立の確認
- 4 議案審議
 - 第1号議案 市民キャビネット農都地域部会との組織統合について
 - 第2号議案 役員変更について
 - 第3号議案 2015年度事業報告・決算報告について
 - 第4号議案 2016年度事業計画・予算計画について
- 5 議長解任
- 6 NPO 法人農都会議 理事会（代表者の確認）
- 7 新役員紹介並びに代表挨拶
- 8 閉会

<第1号議案>

市民キャビネット農都地域部会との組織統合の確認

本法人は、2016年4月1日をもって、市民キャビネット農都地域部会及びバイオマス発電事業化促進WGを統合する。これに伴い、農都地域部会及びバイオマス発電事業化促進WGの残余金7,964円は本法人の会計へ繰り入れする。

定款第8条の規定にある入会金及び会費は、本年度は、農都地域部会及びバイオマス発電事業化促進WGの規定を引き継ぐ。次年度以降は、同条の規定のとおり、理事会にて定めることとする。

<第2号議案>

NPO 法人農都会議 役員変更

定款第14条に基づき、本法人の役員を次のとおり選任する（理事5名の追加、監事の変更）。但し、定款第16条の規定により、任期は次の通常総会までとする。

理事 五十嵐 晃一
理事 磯川 行男
理事 澤 一誠
理事 園田 太嘉雄
理事 松浦 晃
監事 木村 忠夫

(現行役員)

理事 杉浦 英世
理事 竹林 征雄
理事 澤山 弘
理事 手塚 信利
監事 鮫島 宗政

<第3号議案>

NPO 法人農都会議 2015年度事業報告

1. 事業実績

- (1) 一般社団法人 efco.jp（千葉県大多喜町）が環境省の平成27年度地域における草の根活動支援事業の補助金によって2015年11月に主催した低炭素社会づくりイベントの一部について業務委託を受け、11月8日「大多喜町低炭素社会づくりシンポジウム ～地域の人々と考える森林・竹林の活かし方」を開催した。シンポジウムは、農都地域部会バイオマス発電事業化促進WGや地エネ協の協力を得てWEB等関係先への宣伝効果があり、約100名の参加で盛況だった。シンポジウムへは、地元の大多喜町のほか、周辺のいすみ市、市原市、君津市、勝浦市、長南町から、また、千葉県の内外から多数の参加があり、地域・自治体を越えたネットワークの形成となった。その結果、12月の中間支援型の広域ネットワーク「ちば里山・バイオマス協議会」の設立へつながった。
- (2) その他については、バイオマスエネルギーを活用した地域の事業化支援への準備活動以外に特になし。

2. 総括

- (1) 2016年度は、農都地域部会及びバイオマス発電事業化促進WGを統合することに伴い、勉強会やフィールドワークの開催、会員サービス、事業化支援等の非営利活動が飛躍的に増大することが予想されることから、管理運営体制の一層の充実を期したい。

NPO 法人農都会議 2015 年度会計決算報告

2015年4月1日～2016年3月31日

単位 (円)

科目	予算額	決算額	摘要
<収益>			
会費		0	個人会員 10 名
寄付		0	
事業収益		500,000	低炭素社会づくりイベント委託料
雑収益		0	
収益計		500,000	
<費用>			
イベント開催費用		473,000	調査費、交通費、印刷費、消耗品、通信費等
WEB 管理費用		9,488	ドメイン・レンタルサーバー料
事務所費用		14,240	家賃 2016 年 1 月～3 月
雑費		0	
費用計		496,728	
当期正味財産増減額		3,272	
正味財産期首残高		14,223	
当期正味財産増減額		3,272	
正味財産期末残高		17,495	

本決算報告は、適正に処理されていることを認めます。

NPO 法人農都会議 監事 鮫島宗政 印

<第4号議案>

NPO 法人農都会議 2016 年度事業計画

1. 非営利事業

本法人は、地域経済の発展と環境保全が両立する社会の実現をめざして、『市民協働』と『地域協働』の理念のもとに、バイオマスなど再生可能エネルギーの普及・促進、地球温暖化防止など環境保全、ソーシャルビジネスの開発、人材育成等の次の事業を行う。

(1) 広報・宣伝事業

- ・会員勧誘。
- ・WEBサービス（ニュース、メルマガ、その他）。

(2) 再生可能エネルギー普及事業

- ・再生可能エネルギーの導入加速化、地域のバイオマスエネルギーの事業化推進。
- ・アンケート調査、提言とりまとめ等。

(3) 環境保全・環境教育事業

- ・食・農・環境に関連する取組、獣害対策に関連する取組。
- ・地域での体験学習等。

(4) 研修・体験・交流事業

- ・各種セミナー・勉強会。
- ・各種フィールドワーク。

2. 運営体制

(1) 運営・財務

- ・会員やネットワークの拡大、事業化支援の深化を通じて運営・財務体制の強化を図り、本法人に対する社会の期待に応えたい。
- ・農都地域部会とWGの三つの運営方針（勉強会・フィールドワーク等を通じた提言とりまとめなど従来の活動の継続、「市民協働」の理念の次世代への継承、地域の事業化支援）を、本法人も引き継いでいくこととする。

(2) バイオマスWG

- ・昨年度までのバイオマス発電事業化促進WGを名称変更して「バイオマスWG」とする。再生可能エネルギーの導入加速化と地域のバイオマスエネルギーの事業化推進が主なミッションであり、勉強会やフィールドワーク等を通じて現場の課題を提言に取りまとめる活動を行う。
- ・昨年度、WG内に設置した石炭混焼SGの活動も継続して行う。

(3) 食・農・環境G、その他の法人内グループ

- ・食・農・環境Gは、昨年度の農薬・有機農業シリーズを発展させて遺伝子組換えの問題に挑戦したが、次年度も引き続き、有機やGMOに取り組むフィールドワークや勉強会を行う。
- ・本年度、政策づくり講座や提言取りまとめ実践講座を行う「政策づくりSG」を設置する。
- ・獣害対策WG等、地域に寄り添って課題解決を図る中間支援型の広域ネットワークを設置し、具体的活動の検討を始める。

(4) 関連団体

- ・新たな産業の担い手である木質バイオマス発電事業者を取りまとめる業界団体づくりの必要性を検討し、新団体づくりへ向けて、「バイオマス発電事業研究会」の活動を支援していく。
- ・地域のバイオマスエネルギー事業化の実務を担う全国地域エネルギー推進協会（地エネ協）の活動を、引き続き支援していく。

NPO 法人農都会議 2016 年度予算計画

2016年4月1日～2017年3月31日

単位 (円)

科目	予算額	摘要
<収益>		
会費	700,000	個人会員 200 名、法人・団体会員 10 名
寄付		
事業収益	1,000,000	セミナー、事業化支援等
雑収益	7,964	農都部会及びバイオマス WG 残余金
収益計	1,707,964	
<費用>		
広報・宣伝事業	660,000	WEB 等
再生可能エネルギー普及事業	300,000	事業化支援等
環境保全・環境教育事業	100,000	フィールドワーク等
研修・体験・交流事業	500,000	勉強会等
雑費	100,000	通信費、印刷費、消耗品等
費用計	1,660,000	
当期正味財産増減額	47,964	
正味財産期首残高	17,495	
当期正味財産増減額	47,964	
正味財産期末残高	65,459	

※2016 年度は、特定非営利活動に係る事業のみを行い、その他の営利事業は行わない。